

希学園 第406回 小3公開テスト 解説動画

下記、URLよりご視聴いただけます。

動画タイトル	URL
第406回公開テスト 小3国語 解説動画(2026年3月8日実施)	https://vimeo.com/1171430713/84ab41bd8d

① 科目
② 歩く
③ 交通

④ 海外
⑤ 草原

2
1 工
2 A ア
B ウ

3 組み合わせ
4 X ウ
Y ア

5
I 1
II 2
III 2

3
1 見て

2
A ウ
B エ
C イ
D ア

【完答】

3
X イ
Y ウ
Z イ
4
う
か
ん
で

5
ま
ほ
う
つ
か
い

6
I さわ
II 水玉もよう

配点	
①	各2点×5=10点
②~③	各5点×18=90点
<計>100点	

① 小学校2年生までに学習した漢字から出題している。①画数に注意して覚えよう。「科」ののぎへんをきへんにしたり、「目」を「日」にしたりしないように気をつけよう。②「止」を書いてから「少」を書く。③「通」のしんによは二画目と三画目をつなげてわっかができてしまわないように気をつけよう。④「海外」は、外国のことである。⑤「草原」は、草が一面に生えている広い平地のことである。

② 柏野和佳子 『知れば知るほど好きになる ことばのひみつ』

1 文の初めに「たとえば」とあるので直前の内容に注目しよう。「言葉を話す」のは「ヒトだけ」で、「歌う動物はほかにもいる」とあり、その例が「グジラ」と「テナガザル」であった。「結婚相手」はグジラだけ、「縄張り」はテナガザルだけのことである。

2 A 「どうして〜でしょうか」とここから先の話題を示しているので、話題を変えるときに使う「ては」がはいる。

B Bの前では「単語」が生まれた」話をしており、あとでは「単語を」て文章を作る」話をしているので、別の話をならべるときに使う「また」がはいる。

3 「色々な単語を」て文章を作る『文法』の能力」は「道具の発達とともに進化した」とある。次の段落で、ヒトは「木とツルを組み合わせて弓矢を作る」というように別々の物を組み合わせて新しい道具をつくることができる」と述べられており、その「組み合わせる力」が単語にも生かされ」とある。道具と同じように、別々の単語を組み合わせる文章を作るのが「文法」の能力である。

4 X 直後の文に「しかし〜新しい物をつくる能力はヒトにしかありません」とある。ほかの動物にも道具を「使う」ことができるものはいるが、新しく「つくる」ことができるのはヒトだけなのである。

Y 「単語」を「組みかえる」ことで何になつていくのかを考えて文章をたどっていきこう。ヒトはほかの動物とちがって、単語を組み合わせて文章を作り言葉を話すようになったのである。

5 I 本文の最初に「言葉を話す動物は、地球上でヒトだけしかいません」とあった。

II 「歌の一部だけが切り取られ」『単語』が生まれた」とあった。言葉を話すより先に歌っていたということなので、本文の内容に合わない。

III 『文法』の能力は、道具の発達とともに進化した」とあった。ヒトは新しい物をつくる能力を生かして文章を作るようになったので、本文の内容に合わない。

③ 花里真希 『ふしぎなつうがくろ 水玉もよう』

1 「まおは〜しんぴんのかさをくるくるまわしていいました」とあるので、まおのことばに注目しよう。「だって〜みんなに見てもらいたいでしょ」とあった。本文をきちんと確認せずうっかり「見」をひらがなで書いたりしないよう気をつけよう。

2 A ひろとの「雨、ふってないよ」ということばに対するまおの返事がある。まおはかさを見せたくてさしているので、雨がふっていないことは「しってる」と言っているのである。

B 直後で「だって〜みんなに見てもらいたいでしょ」とまおがかさをさしている理由を説明しているので、「じゃあ（＝雨がふっていないのをしっているのなら）、どうしてかさをさしているの？」がはいる。

C 直後でまおがうなずいて「あたし、水玉もよう、大すき」と答えているので、イがはいる。

D 直後に「れおが、こまったかおで」とあるので、「たいへん」とあるアがはいる。

3 X 「口を」にまげます」とある。ひらがなの「へ」の形をイメージしよう。こまったときの表情である。

Y 「さわったものをなんでも水玉もようにしてくださーい」というまおのことば通りになってみんながおどろいているのである。まおは願いがかなって喜んでいるので、「がっかり」をいれてはいけない。

Z 何かが視界に入ってきて目立って見えることを「目につく」という。

4 まおがとびはねてつきつきといろいろなものにさわっていることから、「さわったものをなんでも水玉もようにして」という願いがかなったことがわかる。まおがさわったものはすべて「水玉がうかんで」きていた。

5 「まおちゃん、ほんとにまほうつかいになっちゃったね」ということばがあった。「なっちゃった」という表現がヒントになっただろう。

6 「さわったものをなんでも水玉もようにして」という願いがかなったまおが、「れおのぼうしに手をのばして」いるのは、れおのぼうしにさわって「水玉もよう」にしようとしているからだと考えられる。